

所属長 役職

氏名

〔公印省略〕

名古屋大学認証基盤サービス（LDAP）利用情報変更届

名古屋大学認証基盤サービス利用内規に基づき、下記の通り申請いたします。

利用に際しては、利用内規を遵守し、個人情報の保護を徹底する他、利用に当たって問題が生じた場合には貴本部に速やかに報告いたします。

記

1. 名古屋大学認証基盤サービスを利用しているサービス名称 _____
2. 利用責任者
 変更：【 あり / なし 】（どちらかに○をお願い致します）
 - 現在の利用責任者
 - ① 氏名 _____ ②所属 _____
 - ③ 連絡先 電話番号 _____ E-mail _____
 - 前任の利用責任者
 - ② 氏名 _____ ②所属 _____
 - ③ 連絡先 電話番号 _____ E-mail _____
3. サービス管理者（事務連絡窓口）
 変更：【 あり / なし 】
 - 現在のサービス管理者
 - ① 氏名 _____ ②所属 _____
 - ③ 連絡先 電話番号 _____ E-mail _____
 - 前任のサービス管理者
 - ② 氏名 _____ ②所属 _____
 - ③ 連絡先 電話番号 _____ E-mail _____
4. LDAP 認証情報
 変更：【 あり / なし 】
 使用している LDAP バインド識別名 _____
 - ホスト名及び IP アドレスの追加
 - ・ホスト名 _____ IP アドレス _____
 - ・ホスト名 _____ IP アドレス _____
 - ・ホスト名 _____ IP アドレス _____
 - ホスト名及び IP アドレスの削除
 - ・ホスト名 _____ IP アドレス _____
 削除希望日 _____
 - ・ホスト名 _____ IP アドレス _____
 削除希望日 _____
 - ・ホスト名 _____ IP アドレス _____
 削除希望日 _____

【注意】

- ・ LDAP 認証情報リストから削除された場合、該当のホスト名及び IP アドレスからの LDAP 認証は利用できなくなります。

5. LDAP-SSL

変更：【 あり / なし 】

利用する / 利用しない （どちらかを丸で囲んでください）

※ LDAP-SSL とは、通常の LDAP サーバと負荷分散装置の SSL アクセラレータ機能を組み合わせた暗号化方式です。LDAP-SSL を使用することで、よりセキュアな LDAP 通信が可能です。

6. 利用属性と利用方法

変更：【 あり / なし 】

属性の 追加／削除	属性名	LDAP 利用時			取得後の 保存の有無	備考
		取得	比較	検索		

【注意】

- ・ 「検索」を指定できる属性はインデックス化されている属性のみです。
- ・ 「検索」を指定された独自作成属性は LDAP 管理者によりインデックス化されます。
- ・ 名古屋大学認証基盤サービスで利用できる属性は下記 URL をご参照下さい。

http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/nuid/nuid_info.pdf

7. サービス提供設備・ネットワーク接続の概略図（変更があった場合のみ記載して下さい）

【提出先】

Mail : ldap-cas-tanto@icts.nagoya-u.ac.jp

【本件問い合わせ先】

情報連携推進本部 IT ヘルプデスク

TEL : 052-747-6389（ダイヤルイン）

Web : <https://qa.icts.nagoya-u.ac.jp/>

相談分野「名古屋大学 ID（名大 ID）」→「認証基盤サービスについて」

Mail : it-helpdesk@icts.nagoya-u.ac.jp

管理者記入欄

BIND ID _____

受付日 _____

作業日 _____